

**中央アジア
道路維持管理プロジェクト形成調査
報告書**

**平成17年10月
(2005年)**

**独立行政法人国際協力機構
アジア第二部**

序 文

2004年8月、当時の川口外務大臣がウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギス共和国の各国を訪れ「中央アジア+日本」の協力体制の確立に合意し、9つの重点項目への日本の関与を約束しました。国際協力機構はこの重点項目分野のうち、運輸セクター、特に道路維持管理分野について日本の協力の方向性を探るため、ウズベキスタン、タジキスタン、キルギス共和国の各国に、当機構ウズベキスタン事務所 西宮 宣昭所長、キルギス駐在員事務所 中野 智首席駐在員を団長とするプロジェクト形成調査団を平成17年9月21日から31日間（うち官団員9月21日～10月15日、役務団員は9月21日～10月21日）現地に派遣しました。

調査団は現地政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、地域内協力に資する協力案件の発掘を行いました。

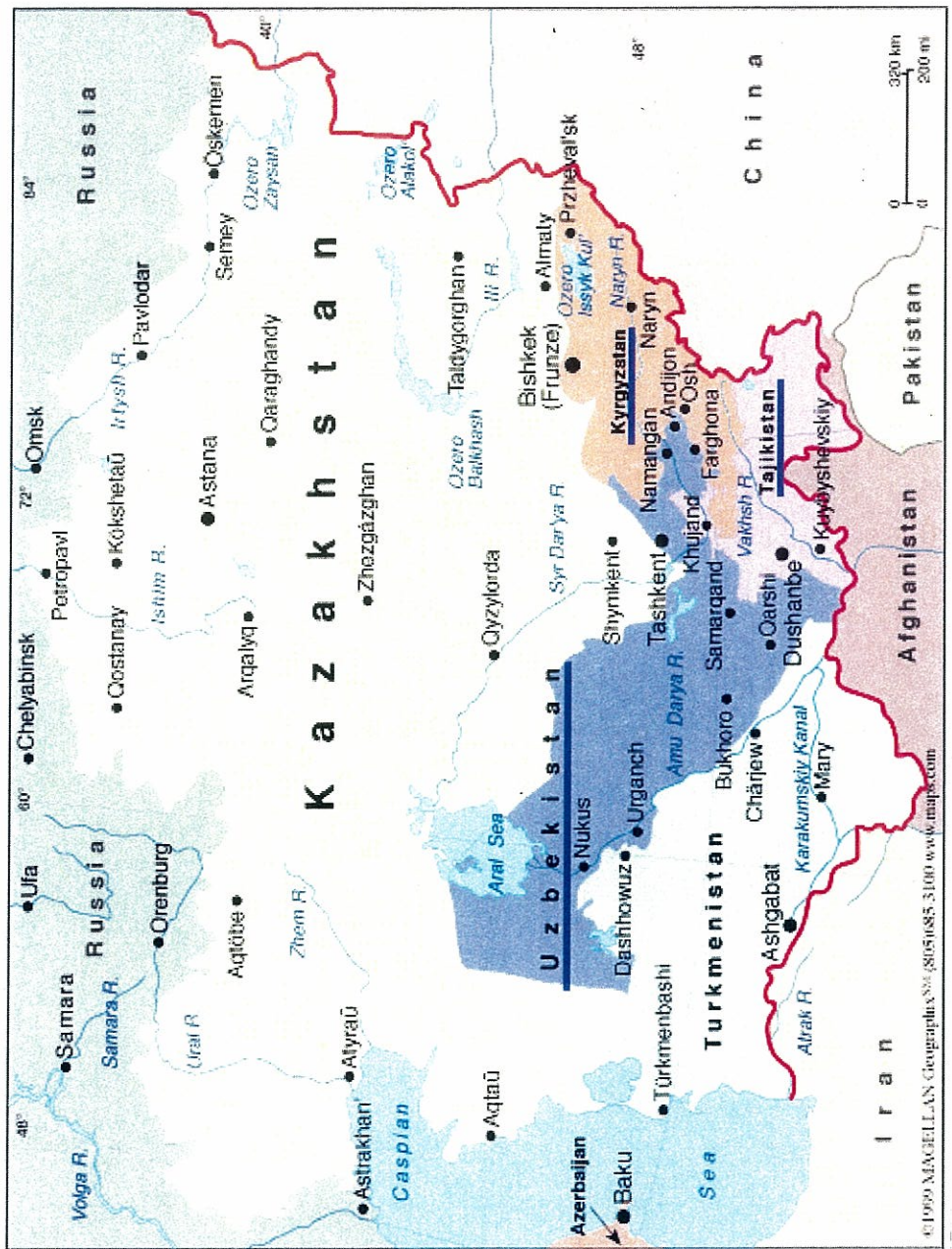
本報告書は調査結果をまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格協力に資するためのものです。

終わりに調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成17年10月

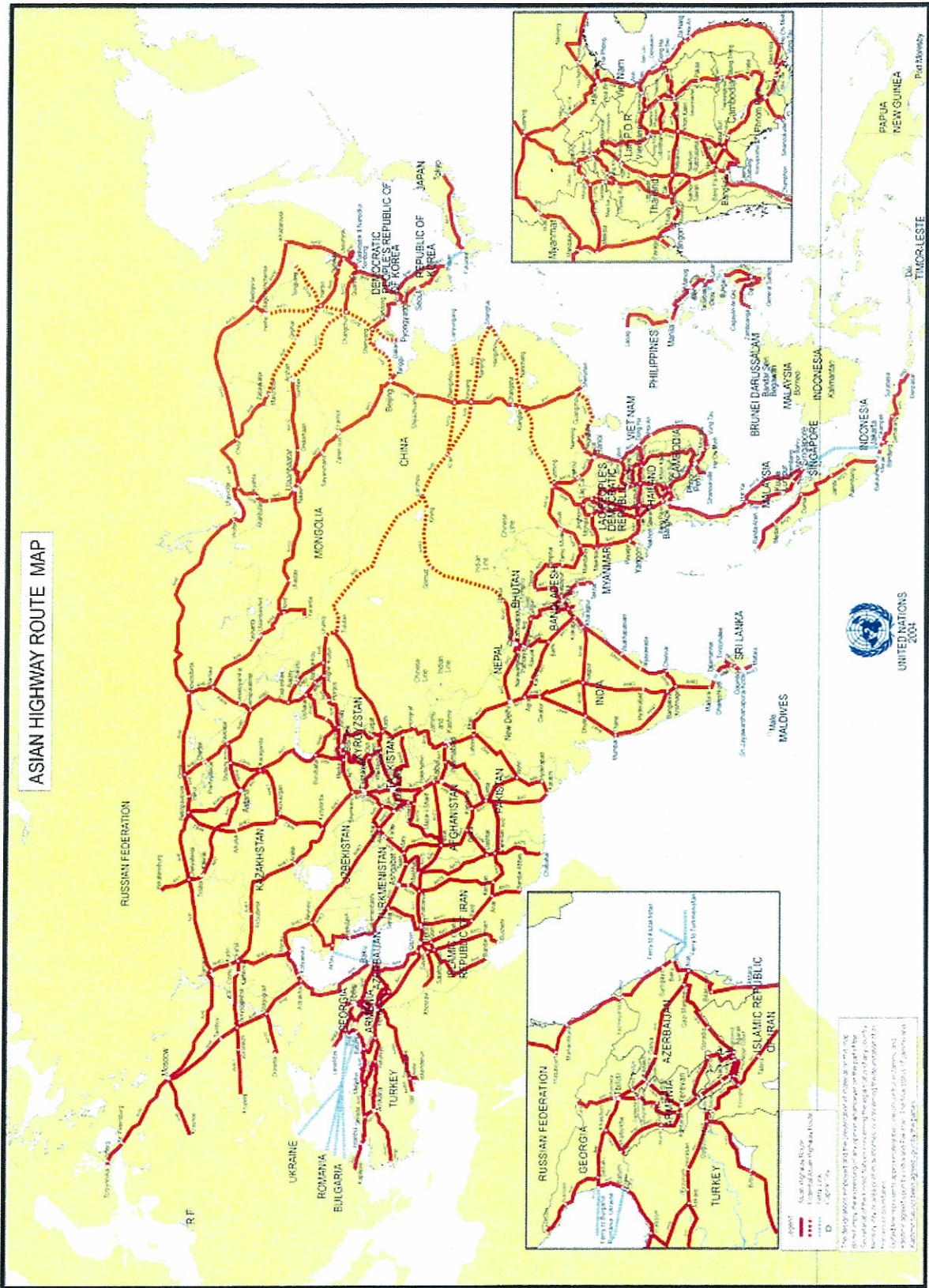
独立行政法人国際協力機構

アジア第二部長 坂本 隆

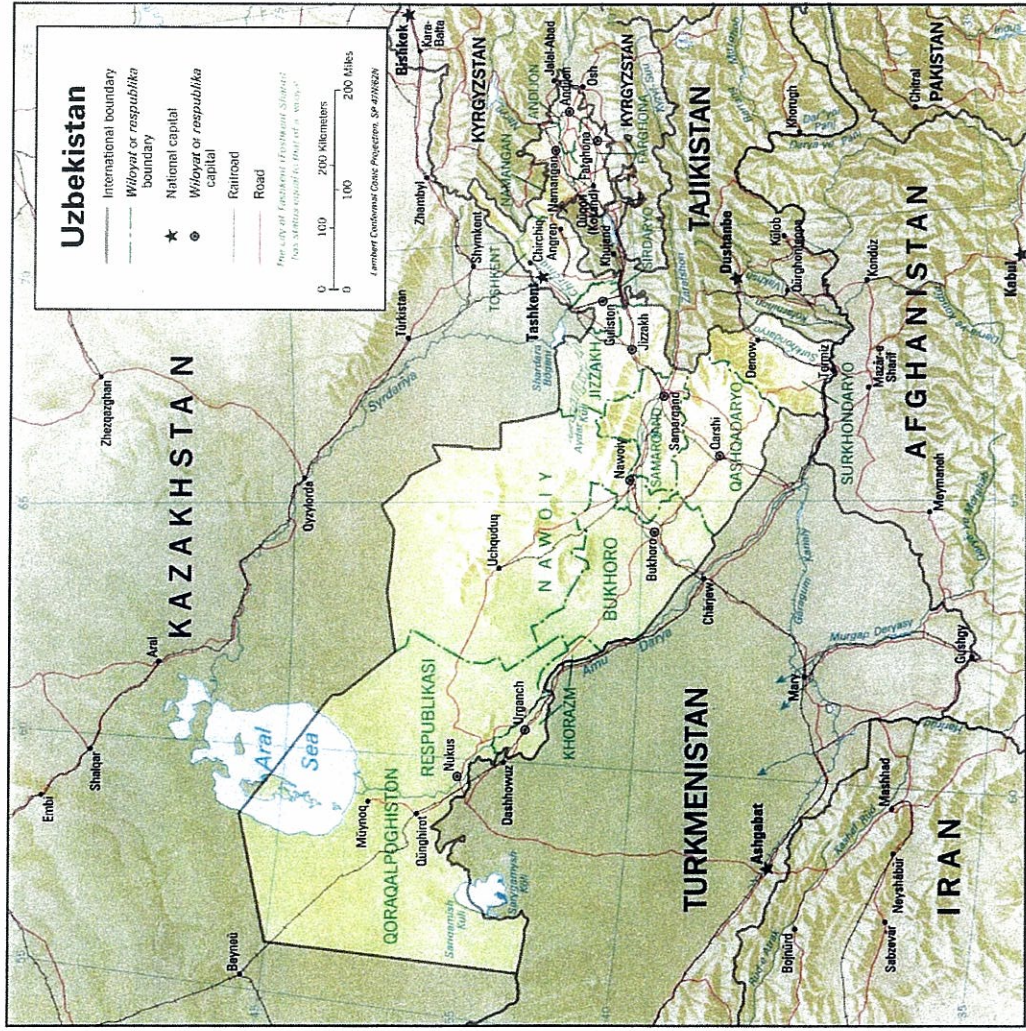


調査対象3国（ウズベキスタン・キルギス共和国・タジキスタン）

ASIAN HIGHWAY ROUTE MAP



アジアンハイウェイルートマップ



ウズベキスタン



キルギス共和国



タジキスタン